

やまもも

稲沢市立大里東中学校学校だより
令和5年6月吉日 第186号

編集・発行 長澤 辰夫

初夏をイメージさせる美しい言葉「青梅雨」

今年は雨が多く、湿気がまとわりついて鬱陶しい日が続いています。いやなイメージが強い「梅雨」、それを日本人は美しいものと捉えて生まれてきた言葉が「青梅雨」ではないかと思います。

「青梅雨」とは、「梅雨の季節に降る、草木の葉をより色鮮やかに見せる雨」を意味する夏の季語です。雨に濡れて青々とした草木や、葉についてきらきらと輝く雨粒を連想させます。若葉の色を引き立てる雨、そう考えると、この長雨も悪くはないかもしれませんね。

熱中症予防に向けて(学校保健委員会)

6月7日(水)に講師の方をお招きして、熱中症について学び、予防に向けて自分たちで予防に向けて実践できるようにすることを目的にした学校保健委員会を行いました。子どもたちは、熱心に講師の方のお話を聞き、大切なことをメモしていました。

地球温暖化が叫ばれる中、熱中症は夏だけではなく1年中、心配しなければならない状況にあります。私たち教員も熱中症を未然に防ぐ取組に尽力しますが、子どもたちも予防に向けて意識することはとても大切なことです。そういう意味でも、この学校保健委員会は、とても有意義なものでした。



学校運営協議会では!

6月8日(木)に学校運営協議会を行いました。会では積極的な熟議が行われるようになり、大変ありがたく思っています。今回は、キャリア教育に重点を置き、子どもたちに「働く」ということについて学ばせてくださる地域の人材発掘がテーマとなりました。委員さんから「この人は？」などと候補の方を挙げてくださり、本校が地域とともにある学校に少しずつ近づいていることを実感しています。本当にありがたい限りです。

